

令和7年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」 検討会議（第1回）次第

日 時 令和7年1月10日（金）午前10時から12時まで
開催場所 東京都庁第一本庁舎 33階特別会議室 S5

1 開会

2 議題

- （1） 検討会議のスケジュール等
- （2） 令和6年「とうきょう こども アンケート」の振り返り
- （3） 令和7年「とうきょう こども アンケート」調査設計（案）
- （4） 令和7年調査の調査項目（案）

3 閉会

【配布資料】

資料1 令和7年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」検討会議
委員名簿

資料2 令和7年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」
第1回検討会議

令和7年子供に関する定点調査
「とうきょう こども アンケート」検討会議 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所属・役職等	
池本 美香	株式会社日本総合研究所 上席主任研究員	外部委員
土屋 隆裕	横浜市立大学教授	
西田 淳志	公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長	
松原 康雄	明治学院大学名誉教授	
森田 明美	東洋大学名誉教授	
渡辺 由美子	認定特定非営利活動法人キッズドア理事長	
小松 義昌	東京都子供政策連携室企画調整部長	内部委員
高橋 祐介	東京都子供政策連携室企画調整部 企画調整課長	
鈴木 孝典	東京都子供政策連携室企画調整部 企画調整担当課長	

令和7年子供に関する定点調査 「とうきょう こども アンケート」 第1回検討会議

2025年1月10日（金）
東京都子供政策連携室

1. スケジュール等(検討会議委員)

<外部委員>

池本 美香 (株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員)
土屋 隆裕 (横浜市立大学 教授)
西田 淳志 (公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長)
松原 康雄 (明治学院大学 名誉教授)
森田 明美 (東洋大学 名誉教授)
渡辺 由美子 (認定特定非営利活動法人キッズドア 理事長)

(五十音順・敬称略)

<内部委員>

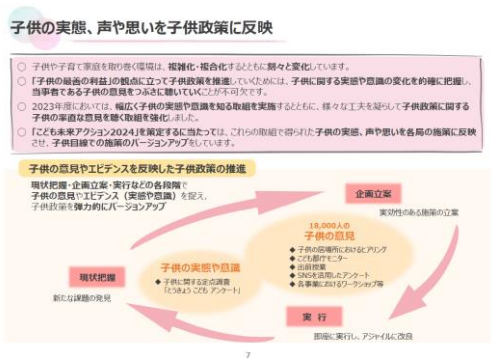
小松 義昌 (東京都 子供政策連携室 企画調整部長)
高橋 祐介 (東京都 子供政策連携室 企画調整部 企画調整課長)
鈴木 孝典 (東京都 子供政策連携室 企画調整部 企画調整担当課長)

1. スケジュール等(会議目的)

○東京都は、チルドレンファーストの社会の実現を目指し、令和6年2月に「こども未来アクション2024」を策定しました。
「こども未来アクション2024」では、**子供の意見やエビデンス**を踏まえ、**子供政策を弾力的にバージョンアップ**することとしています。

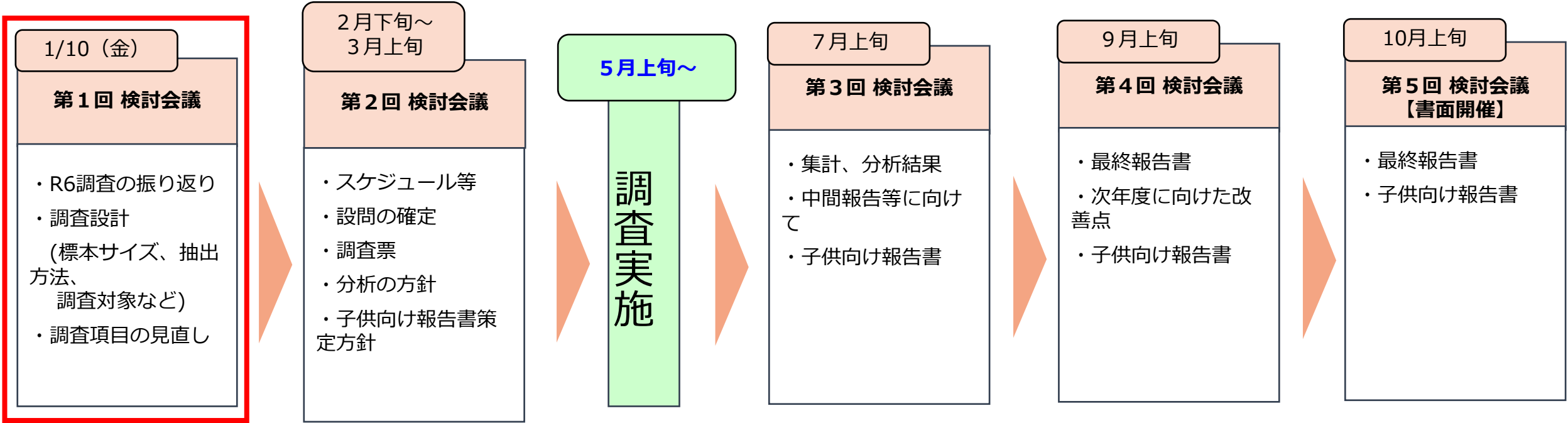
○子供や子育て家庭を取り巻く環境は、複雑化・複合化するとともに刻々と変化しています。
「子供の最善の利益」の観点に立って、子供政策を推進していくためには、**子供に関する実態や意識の変化を的確に把握し**、当事者である子供の声をつぶさに聴いていくことが不可欠です。
このため、**従来の行政分野の枠組みに捉われることなく、子供に関する実態や意識の変化を定点で把握**するため、**令和5年度から、子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート～みんなと考える『いま』と『みらい』～」**を実施しています。政策的な課題や行政ニーズ等の分析・検証に取り組むとともに、経年変化についても分析してまいります。

○本会議では、3回目となる令和7年調査の実施に向け、調査項目、調査結果の分析、子供向け報告書等について議論をお願いいたします。



「こども未来アクション2024」より抜粋
令和6年2月策定

1. スケジュール等(会議のスケジュール(案))



<その他>

- ・ 7月末 中間報告
- ・ 11月上旬 最終報告（プレス発表）

2. 令和6年「とうきょう こども アンケート」の振り返り

調査概要

- ・調査地域 : 東京都全域
- ・調査対象 : 小学3年生、小学5年生、中学2年生、17歳の子供とその保護者並びに3歳児の保護者
- ・標本サイズ : 10,500世帯（計19,500人）
- ・抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- ・地点数 : 200地点
- ・調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）
- ・調査時期 : 令和6年5月7日（火）から令和6年5月31日（金）まで
- ・同封物 : 挨拶状、令和5年調査結果の概要ペーパー、東京都こども基本条例ハンドブック、粗品
- ・謝礼 : 回答した子供に対し、「500円の図書カード（小3・小5）/Amazonギフトカード（中2・17歳）」を送付
- ・回収率 : 42.5%

子供向け報告書

- ・子供たちに調査結果をわかりやすく伝えるため、発達段階に合わせて3種類の子供向け報告書を作成

小学3年生



小学5年生



中学2年生・17歳



3. 令和7年「とうきょう こども アンケート」調査設計(案)

■ 調査地域

東京全域

■ 調査対象別標本サイズ

前回の令和6年調査と同様とする

※カッコ内はR6調査の実績

区分	3歳児 保護者	小3		小5		中2		17歳		合計
		子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	
標本サイズ	1,500 (1,500)	2,050 (2,050)		1,900 (1,900)		2,150 (2,150)		2,900 (2,900)		10,500 (10,500)
(参考) R6回収率【%】	(55.9)	(49.7)	(47.6)	(49.6)	(46.9)	(39.5)	(39.0)	(34.3)	(32.6)	(42.5)
(参考) R6回収数【件】	(839)	(1,018)	(976)	(942)	(891)	(849)	(839)	(995)	(945)	(8,294)

■ 地点数

200地点

■ 抽出方法

層化二段無作為抽出法

<層化>
(区部)
【センター・コア・エリア】：千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川
【区部東部・北部エリア】：北・板橋・足立・葛飾・江戸川
【区部西部・南部エリア】：品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬
(市町村部)
【多摩東部エリア】：武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京
【多摩中央部北エリア】：立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村・瑞穂
【多摩中央部南エリア】：八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城
【多摩西部エリア・島しょ】：青梅・あきる野・日の出・檜原・奥多摩・大島・利島・新島・神津島・三宅・御蔵島・八丈・青ヶ島・小笠原

3. 令和7年「とうきょう こども アンケート」調査設計(案)

■調査期間

令和7年5月7日（水曜）から5月31日（土曜）までを予定 <25日間> ※令和6年調査と同日数

■調査方法

- ・郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）
- ・調査票（子供用、保護者用）と返信用封筒（子供用、保護者用）を各家庭に一つの封筒で送付
- ・送付時のあて名は、子供の名前を明記（対象者を明確にするため）
- ・調査票にNo.をふり、親子関係を把握

■同封物・謝礼

- ・挨拶状（両面1枚）、概要ペーパー(子供向け、両面1枚)、東京都こども基本条例ハンドブック、粗品（ミニうちわ、タオル、ボールペン、ウェットティッシュのいずれか1つ）を同封
- ・回答した子供に対し、謝礼（500円分）を送付

■その他

- ・令和7年調査の結果をわかりやすく伝えるため、子供向け報告書を調査対象学年（小3・小5・中高生）に応じて、3種類作成（子供の意見聴取を実施）
- ・調査票の最後に、令和6年調査結果・こども基本条例紹介動画・相談窓口紹介ページへのリンクを貼付

4. 令和7年調査の調査項目(案)

■ 基本的な考え方

・令和6年調査の設問は以下の8つの調査分野を基に設定

※以下は、令和6年調査項目の設問

① 子供自身に関する分野

- ・今の自分は幸せか ・今の自分が好きか
- ・家族との関係は良好か
- ・今悩んでいることはあるか

② 子供の安全安心に関する分野

- ・住む地域で危険な目にあったことはあるか

③ 子供の遊び場・居場所に関する分野

- ・普段、何をして遊んでいるか
- ・居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）はどれか

④ 子供の学び・成長に関する分野

- ・社会課題について関心があるか
- ・学ぶことが楽しいか

⑤ 子育て家庭支援に関する分野

- ・住む地域は子育てに良い場所か（保護者）
- ・子育ての相談相手の不足に悩んでいるか（保護者）

⑥ 子供の意見表明、参加、権利擁護に関する分野

- ・自分の意見を他の人にしっかり言えるか
- ・困ったり悩んだりしたとき、相談できる人はいるか
- ・東京都こども基本条例について知っているか

⑦ 社会的情勢の変化に応じた分野

- ・生成AIを使用しているか

⑧ 分析にあたって必要となる基本情報等

- ・スマートフォンが自由に使えるか
- ・家庭内での「家事・育児」の分担はどのようになっているか（保護者）

4. 令和7年調査の調査項目(案)

■調査項目（案）の考え方

- ・調査の継続性を担保するため、基本的には令和6年調査の調査項目（設問・選択肢）を踏襲
- ・昨年の子供の意見聴取（出前授業や個別インタビュー）の結果を踏まえ、**ユーザーテストを実施し**、設問・選択肢をわかりやすい表現に変更

ユーザーテスト実施概要（案）	
実施時期	令和7年2月上旬 ※原則対面で実施
対象者	小学3年生、小学5年生 各3～5名
実施方法	対象者に、令和6年とうきょう こども アンケートの①紙調査票（全部）及び②Web調査（一部）に回答してもらった上で、意見聴取する 【意見聴取する内容】 ・漢字や表現（単語や言い回し）等が分かりづらい点はないか ・Web画面の答えやすさ ・イラストへの印象・効果

- ・昨年の調査結果を踏まえ、一部の設問・選択肢について変更・追加・削除を行う
 - ①必要性の低い選択肢を削除し、必要性の高い選択肢を追加
 - ②設問間の表現の統一等、わかりやすい形に設問・選択肢を修正
 - ③MAの設問で「その他」の割合が10%以上ある設問について、分析対象数を増やすために、選択肢を追加・変更
 - ④小学生にとって難しい・わかりにくい設問・選択肢を修正（ユーザーテストの結果も踏まえて検討）

4. 令和7年調査の調査項目(案)

①必要性の低い選択肢を削除し、必要性の高い選択肢を追加

区分	R6設問(現行)	R6選択肢(現行)	変更案	理由
変更・削除	(子供:共通)問40.あなたは、平日(学校や仕事がある日)は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。(それぞれ1つ) A.起きる時間	… ⑩午前9時～午前11時59分 ⑪午後0時(正午)～午後11時59分 ⑫起きる時間は決まっていない	… ⑩午前9時～午後11時59分 ⑪削除 ⑫起きる時間は決まっていない	回答割合が⑩0.8%、⑪0.2%と少なく、分ける必要性が低いため
変更・削除	(保護者:共通)問39.あなたは、平日(仕事などがある日)は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。(それぞれ1つ) A.起きる時間	… ⑩午前9時～午前11時59分 ⑪午後0時(正午)～午後11時59分 ⑫起きる時間は決まっていない	… ⑩午前9時～午後11時59分 ⑪削除 ⑫起きる時間は決まっていない	回答割合が⑩0.2%、⑪0.0%と少なく、分ける必要性が低いため
変更・追加	(子供:共通)問40.あなたは、平日(学校や仕事がある日)は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。(それぞれ1つ) B.寝る時間	①午後0時(正午)～午後8時59分 ②午後9時～9時29分 …	①午後0時(正午)～午後7時59分 ○【追加】午後8時～午後8時29分 ○【追加】午後8時30分～午後8時59分 ②午後9時～9時29分 …	①は小3の回答割合が11.9%。小3の場合、9時前に寝る子が多いと考えられ、選択肢を増やすことで分析しやすくするため

4. 令和7年調査の調査項目(案)

②設問間の表現の統一等、わかりやすい形に設問・選択肢を修正

区分	R6設問(現行)	R6選択肢(現行)	変更案	理由
変更	(子供:共通)問18.自分の描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。(いくつでも)		(子供:共通)問18.あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。(いくつでも)	特に子供では「自分」が誰なのかわかりにくい場合もあるため、設問に「自分」が使われているものを「あなた」に修正
削除	(保護者:共通)問 1.あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか。(1つだけ)	①父 ②母 ③祖父 ④祖母 ⑤その他親戚 ⑥その他	①父 ②母 ③祖父 ④祖母 ⑤【削除】 ⑥その他	その他親戚の回答割合は0%であり、次の問2(同居している人)では「その他親戚」の選択肢はなく、設問間の表現を統一するため
変更	(保護者:共通)問 3.あなたとお子様が現在住んでいるお住まいを教えてください。(1つだけ)	①持ち家・一戸建て … ⑤祖父母・親戚宅に同居 ⑥その他	①持ち家・一戸建て … ⑤自分または配偶者・パートナーの親や親戚宅に同居 ⑥その他	・【お子様から見た続柄(関係性)】で答えるよう注記がある設問もあるが、問3は特段の注記がないまま「祖父母・親戚」という選択肢になっていた。保護者視点の方が自然な設問のため、案のとおり修正
変更	(保護者:共通)問28.あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。(いくつでも)	… ⑫自分の親や親戚 …	… ⑫自分または配偶者・パートナーの親や親戚 …	

4. 令和7年調査の調査項目(案)

③MAの設問で「その他」の割合が10%以上ある設問について分析対象数を増やすために、選択肢を追加・変更

区分	R6設問(現行)	R6選択肢(現行)	変更案	理由
変更	(子供:共通)問 4.あなたは 普段、放課後や休みの日に 何をして遊びますか。(いくつ でも)	①マンガや本を読む … ⑧公園の遊具 ⑨友人などとおしゃべり ⑩その他 …	①マンガや本を読む … ⑧公園で遊ぶ ⑨友人とおしゃべりするなどして遊ぶ ⑩その他	⑩その他の回答割合が10.9% (415 件) もあるため、その他の回答傾向を 踏まえ、選択肢を変更 (参考) その他の内訳 友達と遊ぶ関係 (友達と公園で遊ぶ 含む) 10%、勉強・塾関係21%、部 活関係19% (中2・17歳のみ)、
変更・追加	(保護者:共通)問34.お子 様は過去 1 年以内に次のよ うな経験をしたことがあります か。(いくつでも)	①いじめを受けた ②性別による差別を受けた ③国籍・人種による差別を受 けた ④その他の嫌な経験 ⑤特に嫌な経験はしていない	○【追加】暴言や傷つくことを言われた ○【追加】無視された (、仲間外れにさ れた) ①いじめを受けた ②性別による差別を受けた ③国籍・人種による差別を受けた ○【追加】暴力を受けた ④その他の嫌な経験 ⑤特に嫌な経験はしていない	④その他の嫌な経験が11.3% (508 件) もあるため、その他の回答傾向や 同種の子供の設問 (問36) を踏まえ、 子供の設問と同じ選択肢とする (参考) その他の嫌な経験の内訳 暴言関係 (友人とのトラブル含む) 51.5%、暴力関係9.3%、無視・仲 間外れ関係4.4%

④小学生にとって難しい・わかりにくい選択肢を修正 (ユーザーテストの結果も踏まえて検討)

- ・「祖父母」「親戚」「テレビ (リアルタイム)」「家庭用ゲーム機」「オンライン／オフライン」「玩具」「居心地」など、
小学生にとって難しい・わかりにくい選択肢を、ユーザーテストの結果も踏まえ、修正・補記する
(第2回検討会議で議論を予定)